

今話題の世界の熱帯医学、渡航医学、感染症に関する  
ニュース&トピックスをピックアップして配信いたします。

## タイで Dengvaxia デングワクチンの接種が可能となる (Dengvaxia デングワクシア)

---

デング熱ワクチンがタイ FDA でも承認され、2016 年末より、タイで接種可能となっている。接種対象者は WHO の指針では、デング熱流行地域(Seroprevalence 70%以上)に在住する 9 歳から 45 歳とされている。生ワクチンを 0, 6, 12 ヶ月の 3 回接種を行う。中南米と東南アジアで 3 万人に対して実施した臨床研究の結果、ワクチンの有効率は 57~61% で、特に重症化軽減、入院率軽減の高い効果が見られた。ワクチン自体の副作用は少ないが、4 つの血清型のうち重症化を起こしやすい DEN-2 に対する効果が低いこと。再感染時の重症化の可能性があることが問題としてあげられる。生ワクチンなので妊娠中、免疫不全の患者には投与できない。獲得抗体は 6 年程度は持続する様子である。初めて公的に接種可能となったワクチンの効果、行方に注目したい。

Lancet. 2014;384(9951):1358. Epub 2014 Jul 10.

N Engl J Med. 2015;372(2):113. Epub 2014 Nov 3.

## インドの海鮮物は多剤耐性菌に 汚染されている可能性が高い

---

世界各国で基質特異性拡張型  $\beta$ -ラクタマーゼ (extended-spectrum  $\beta$ -lactamase : ESBL) 産生菌の院内、市中感染が増加しており、感染対策上問題となっている。市中感染の増加の原因として汚染された食べ物、水が考えられている。インドの研究ではマーケットで購入した 19 の新鮮な魚、貝の細菌検査を行った。169 件培養で同定され、その多くが大腸菌を始めとする腸内細菌であった。驚くべきことに 97.6% が Cefotaxime に耐性があり、ESBL 産生菌と 78.6% と高値であった。

Microorganisms. 2017 Aug 30;5(3).

【マヒドン大学熱帯医学部原虫講座】e-ラーニング近日公開  
講師.マヒドン大学熱帯医学部特任教授 森 博威

【発行元】 特定非営利活動法人グローバルメディカルサポート （月 2 回）

□MAIL. [info@npo-gms.org](mailto:info@npo-gms.org)

□URL. <http://npo-gms.org/index.html>

□FB. <https://www.facebook.com/NPOGMS/>

